



父母の会の事業は、お得!?

会長 春川純一



皆さん、こんにちは！ 日頃から、父母の会の事業にご理解、ご協力をいただき、感謝を申し上げます。

私は今年度、会長という大役をやらせていただいています春川と申します。

さて、父母の会は大学生活が少しでも充実したものになるような支援や大学と家庭の連携を密にするための場を設けるなどの活動を実施しています。具体的には、全体総会、支部総会、講演会、各部活動への助成、奨学金の制度等を行っています。

今年度実施した事業から二つの講演会をご紹介します。

一つは、11月3日の学園祭・紅葉祭に併せて実施した文化講演会です。今回は水球の社会人チーム「ブルボンウオーターポロクラブ柏崎」で大活躍をされており、新潟産業大学の教員でもある青柳樹さんにお話をお願いしました。テーマは「プロ選手の生活の実態」プロからアマチュアへの転向」です。イタリアのプロの水球チームで活躍されていた時の様子や

プロチームの仕組みの裏話など、今まであまり人に話されてこなかったことなど、興味深い話をたくさん聞くことができました。

もう一つは、11月17日に開催した父母の会の新潟支部・中部東海支部の総会に併せて実施した講演で新潟産業大学の講師を務めている蓮池薫さんをお願いしました。テーマは「北朝鮮での子育て」先

北朝鮮での厳しい生活の実態をお聞きしながら、拉致という信じられない逆境の中でも悲観せず、生き抜く力をもって子育てをされてきたこと、初めて聞く生々しいお話に引き込まれ、感動いたしました。

まさに二つともこだけしか聞けない内容で、ちよっと得した気分になりました。もちろん、父母の会の目的は、お子さんたちが有意義な学生生活を送るための支援ですが、保護者の皆さんにもためになる活動です。ぜひ、大勢の皆さんからご参加をお願いしたいと思います。

最後に、新潟産業大学と父母の会の益々の発展のために、皆様の一層のご協力をお願いいたします。



(大学のマスコット：サンチャッカル君)

発行所 新潟産業大学
 新潟産業大学父母の会事務局
 〒945-1393 新潟県柏崎市軽井川4730
 ☎(0257) 24-6402
 FAX 22-8241

一年を振り返って

新潟産業大学 学長 広川俊男



この1年間も、学生たちは指導の教職員と共に多くの成果を生み出してくれました。柏崎の中心商店街に「まちかど研究室」が立ち

上がり、柏崎をYouTubeで世界に発信する『柏崎最高プロジェクト』などの取り組みが始まりました。また、「起業家フォーラム」新潟での審査員奨励賞受賞や「十日町ビジネスコンテスト」での決勝進出もありました。部活動でも、空手部が北信越大会個人組手で1、2位を独占したほか、水球、卓球、ライフセービングの各部が全国大会で活躍し、「小さいがしっかり頑張る大学」をアピールしてくれました。

最後に私事ですが、学長の任期が3月末で満了となります。新学長には筑波大学学長や日本学生支援機構理事長などを歴任された北原保雄先生が就任されます。

これまでのご支援に心より感謝申し上げますと同時に、これまで以上のご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

新潟産業大学 新学長 北原保雄



私は、新潟産業大学がある柏崎市軽井川の出身です。平成19年1月より本学の経営改革推進室顧問、そして平成20年12月からは理事・

評議員を務め、経営協議に参加してきました。ただ、外からの協力には限界があります。まことに今更ですが、老骨に鞭打って、直接経営に参加してみようと思いついた次第です。数多くの大学の中で生き残るには、特色のあ

る大学でなければなりません。私は、本学が、「地域おこし大学」「人づくり大学」という特色を鮮明に掲げて発展することを目指していきたいと考えています。

「地域おこし」は、「地元おこし」と「それぞれの地方おこし」の2つを意味します。柏崎という自然・産業・文化に恵まれた環境の中で、実践を活かしながら「地域おこし」の経済学を教育研究します。もちろん、グローバルな視点も忘れてはなりません。そういうアドミッショ

ンポリシーのもとに、地元以外や外国からも、多数の学生を集めたいと思っています。そして、東京のマンモス大学にはできない丁寧な教育をする。それが「人づくり大学」です。

『父母の会』年間事業

〈年間スケジュール〉

- 5月 前年度会計監査
- 6月 役員会
- 9月〜12月 各支部総会開催
- 11月 文化講演会・学園祭開催に合わせて実施
- 2月 会報発行
- 3月 役員会

〈役員募集中!〉

平成25年度の「父母の会」役員を募集しております。大学のこと、学生たちのことを一緒に考え活動してみませんか。我こそはという方は、父母の会事務局(0257-24-6402)までご連絡ください。

預金一覽

(平成24年3月31日現在・単位:円)

種別	金額	満期日	備考
定期預金 No.2142425	350,000	平成24年 6月16日	平成25年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.03%
定期預金 No.2142419	510,000	平成24年 6月16日	平成24年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.03%
定期預金 No.2142426	350,000	平成24年 6月16日	平成26年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.03%
定期預金 No.2142422	445,000	平成24年 6月16日	平成24年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.03%
定期預金 No.2142427	360,000	平成24年 6月16日	平成24年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.03%
定期預金 No.2142424	445,000	平成24年 6月16日	平成25年度事業に使用目的の積立金 北越銀行(スーパー定期自動継続) 利率0.03%
計	2,460,000		
奨学基金積立			
定期預金 No.2235327	2,017,349	平成24年 6月9日	平成6・7年度 奨学基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.03%
定期預金 No.2235328	1,513,014	平成24年 6月9日	平成8年度 奨学基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.03%
定期預金 No.2235329	1,513,014	平成24年 6月9日	平成9年度 奨学基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.03%
定期預金 No.2235330	1,513,014	平成24年 6月9日	平成10年度 奨学基金積立 第四銀行(スーパー定期成長型) 利率0.03%
計	6,556,391		
合計	9,016,391		
決済用 普通預金	629,813		北越銀行柏崎支店 No.58160
	2,330,000		No.541482 特別会計奨学貸付
計	2,959,813		
決済用 普通預金	1,420,000		No.482517 入会者会費振込用

父母の会会計

(単位:円)

収入の部

科目	23年度予算額	23年度決算額	比較増減	摘要
会費(新入生のみ)	1,420,000	1,420,000	0	20,000円×70名=1,400,000円(1年生) 10,000円×2名= 20,000円(院生・編入生)
当年度事業積立金繰入	1,385,000	1,385,000	0	過年度に徴収した平成23年度事業積立金取崩分
雑収入	30,000	22,915	7,085	懇親会費、預金利息他
前年度繰越金	866,455	866,455	0	
計	3,701,455	3,694,370	7,085	

支出の部

(単位:円)

科目	23年度予算額	23年度決算額	比較増減	摘要
事務費	10,000	9,209	791	通信費・振込手数料他
役員会開催費	150,000	194,216	△ 44,216	通信費・交通費・昼食代他
総会開催費	300,000	166,059	133,941	通信費・印刷費・懇親会費他
支部活動補助費	700,000	430,409	269,591	北海道東北支部 70,031円 新潟・中部東海支部 251,431円 関東支部 30,192円 北陸支部 834円 近畿以西支部 59,759円 教職員派遣交通費 18,162円
事業開催運営費	300,000	207,814	92,186	文化講演会開催経費
課外活動補助費	600,000	600,000	0	遠征・強化合宿等、学友会への補助
会報発行費	40,000	26,850	13,150	印刷費・発送費用
卒業行事関係補助費	250,000	250,000	0	卒業パーティ経費
福利厚生費	60,000	20,000	40,000	慶弔費
奨学事業費	100,000	100,000	0	留学生を支援する会への寄附金
24年度事業積立金	360,000	360,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
25年度事業積立金	350,000	350,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
26年度事業積立金	350,000	350,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金
予備費	131,455	0	131,455	
次年度繰越	0	629,813	△ 629,813	
計	3,701,455	3,694,370	7,085	

就職活動体験談



経済学部4年
山後 麗理沙
(JA柏崎内定)
(柏崎農業協同組合)
6月下旬にJA柏崎から内定をいただきました。

た時は、とても嬉しかったです。内定をいただいた時は、とても嬉しかったです。私は地元柏崎に愛着をもっており、柏崎のために働きたい、貢献したいという気持ちが強かったので、この企業に決めました。就職活動は3年の12月から本格的に始め、合同企業説明会や学内の就職合宿に参加し、自分でこまめに就活サイトをチェックしたり、エントリーした企業の情報をすぐに入手するようにしました。そして3月頃には柏崎ハローワークにも登録して地元企業の情報もいち早く入手。一般常識対策として家でも勉強に励み、就職課にも頻りに立ち寄るようにして、自分に合うような企業を紹介してもらいました。就職課の方々が真剣に学生の事を心配して声を掛けてくださり、面接練習も繰り返し練習させていただきました。でも最初はなかなか試験でうまくいかず辛い思いもしましたが、そんな時就職課に相談したら、色々なアドバイスをもらいました。特に、内定したJA柏崎の採用試験では、今まで農業に関わる事がなかったのですが、農業組織やT・P・P問題などについて徹底的に調べ、どんな事でも答えられるようにしました。その結果面接では自信を持ってハキハキと答える事ができたと思います。また両親とは家でもよく話すので、就職活動の相談やアドバイスをよくもらいました。就活を振り返ると辛い事もよくありましたが、周りの人にたくさん支えてもらい、乗り越える事が出来たと思います。そして、私は現在かしわさき観光大使として活動しています。市内のイベントだけでなく、県外へも行き、柏崎のPRやイベントにも参加しています。たくさんの人たちと出会う機会があるので、毎回とても刺激をもらい貴重な体験をさせてもらっています。そして今の観光大使の



経済学部4年
田辺 卓也
(ハートオコロジー内定)
私は、株式会社ハー
ドオコロジーショ
ンから内定をいただき
ました。

私が就職活動を本格的に始めたのは、三年の十二月に朱鷺メッセで行われた合同企業説明会からです。ここでハードオコロジーションのブースで説明を聞きました。それから自分ですべてのホームページなどで情報集めをしました。在学中に海外留学などの特別な経験をしておくと、自分の強みになりますし、就職活動をする上で履歴書やエントリーシート、面接で大きな力になります。私は三年生の時に柏崎市のNPO法人が主催する研修会に参加しました。研修の内容は、昨年の東日本大震災に起因した福島原子力発電所の事故から「原子力」について考えるというものでした。この研修会には東京の早稲田大学の学生も参加していて、一緒に柏崎刈羽原子力発電所を見学したり、実際に福島県の被災地に行って、その凄惨な光景を目の当たりにしました。研修のしめくくりは、「これからどう原子力と向き合っていくか、また原子力に代わる新エネルギー、そしてマスコミの報道の影響から起こる風評被害」について早稲田大学で、発表会を行いました。普段は絶対に交流することのない早稲田大学の学生と意見交換をしたり、被災地を訪れたりしたことや、原子力について学ぶことができたこの経験は、就職活動だけでなく、私自身の人生の強みになると思います。研修や留学など、自分の強みになる経験をぜひ在学中にしておくと思います。四年も後半になり、卒業まで残すところあと僅かとなりました。これから入社日まで身に付けられるものはほとんど身に付けて、新潟産業大学の卒業生として恥じることのない立派な社会人となって、他の社員やお客様から信頼されるような人間になりたいと思っています。

活動をこれからの農業組織に活かしていけたらと思います。

父母の声

父母の会 新潟支部長 山後成秀



日頃より父母の会の活動へのご理解ご協力ありがとうございます。

父母の会は新潟産業大学での教育活動の援助、学生・教職員の教養と福利増進、大学と家庭の連絡強調、相互の理解と協力により大学の発展に寄与することを目的とした各種催事や奨学金、部活動資金の支援を行っております。

父母の皆さんが参加頂ける総会、文化講演会につきましても、父母の会役員と大学関係者との意見を反映した趣向をこらしたものととなっております。

大学や父母を通して学生生活の情報交換を行ったり、興味深いテーマにそった先生方や著名人からの講演で知識や心の高揚を高めたり、有効に資金や組織運用がされているかを確かめることができ、皆様が、満足頂けるものと確信しております。

大学に近い新潟支部・中部東海支部の支部総会におきましては、個人面談、決算報告、大学からの現況説明、毎年大変好評の在学生の就職体験談の披露に加え、本年は蓮池薫先生から衝撃的で興味深い内容のご講演もあり、大変盛況なものでした。

会員の皆様におかれましては、より一層の活動への理解と関心を持っていただき、積極的なご参加をお願いできればと思います。

私個人としてはご縁があって3年間役員を務めさせて頂きましたが、父母の会行事への参加、役員として運営参加させて頂くなかで、大変充実した日々を過ごせたことに感謝いたします。

まずコミュニケーションを

新潟産業大学 学生委員長 梅比良眞史



父母の会のみならずには、大学での学業、スポーツ・文化活動に際し、大いなるご協力をいただき、ありがとうございます。

私たちの大学は大規模校とは違い、学生諸君の顔がわかる大学です。そのひとりひとりに実りある学生生活を送ってもらうために多方向からサポートする体制が整っています。

現在の学生は、学業や就職活動に対する不安、経済的困窮、精神的な問題など大変厳しい環境に置かれています。そのようなことを相談することができるよう、1年から4年まで全学年にゼミナールがあり、担当の教員がいます。そして1・2年のクラスには事務職員も加わって学生の相談に乗る仕組みもできています。さらに学業のことなら教務課、生活のことなら学生課、就職のことなら就職課に行けば、より具体的な情報が得られます。

また医務室にはベテランの看護師、そして精神科医でもある校医、非常勤講師の医師が、心の悩みの相談を受けています。

まずこうした身近なところから授業・生活についての話をすることで、学生と教職員のコミュニケーションが成立することになります。この人と人とのコミュニケーションなくしては学生生活のみならず社会生活でも良い結果は得られません。私たちの大学はコミュニケーションを大切にします。

これからもみなさまの声を聞かせていただきたいと思っています。

父母の会の行事はそのまたとない機会です。多くの保護者のかたがたのご参加をお待ちしております。



(大学のマスコット：サンチャッカル君)

~~~~~ Campus Topics ~~~~~

経済的理由により修学困難な学生を支援する 学費軽減制度について

新潟産業大学では、経済的理由により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を導入しています。詳細は、以下の通りです。ご不明な点は、学生課(0257-24-6402)までお問い合わせください。

1. 対象者 本学の学部学生で、学費負担者の年間所得が次表に該当する者(留学生を除く)。

通学形態	自宅通学	自宅外通学
年間所得の上限	300万円程度	350万円程度

2. 学費軽減の期間 平成25年度(1カ年)
3. 学費軽減の範囲 授業料に限り2分の1を上限として軽減します。
4. 申請手続き方法 学生課にある所定の用紙に必要事項を記載するとともに必要書類(授業料減免申請書、家庭状況調査書、市区町村発行のH23年度所得・課税証明書、H24年度の所得金額を証明できるもの、他生活の困窮を証明できるものなど。詳しくは、申請書類に記載)を用意し、学生課に締切日までに提出してください。単年度申請であるため、今年度の採用者についても改めて申請する必要があります。
5. 申請書類提出期間 平成25年1月7日(月)~2月12日(火)
6. 審査について 学内において、提出された書類を基に、学費負担者および家計を一にする家族の年間所得、家族構成、奨学金受給の状況、修学意欲等を総合的に審査し、採否を決定します。
7. 通知について 学費軽減の採否については、3月1日(金)までに保護者宛に文書で通知します。

父母の会奨学貸付制度について

父母の会では、会員が経済的に困窮し緊急に援助を必要とする場合について、以下の通り無利子で資金を貸し付ける制度を設けています。貸与を受けられる範囲は、新潟産業大学父母の会会員の子弟に限ります。

詳しくは、父母の会事務局(0257-24-6402)までお問い合わせください。

1. 貸付限度額：学納金年額の限度内とします。但し、貸付金は学納金に充当しなければなりません。
2. 返 還：貸付年度内に返還しなければなりません。
3. 提出書類：学生課にある所定の用紙に必要事項を記入し、連帯保証人の身分を証明する書類を添え、父母の会会長まで提出しなければなりません。
4. 決 定：選考委員会が審査し、父母の会会長が決定します。
5. そ の 他：学籍を離れる場合は、直ちに全額を返還しなければなりません。



(大学のマスコット：サンチャッカル君)

産大ニュース

柏崎観光親善大使 として活躍

柏崎観光協会からの委嘱による平成24年度「柏崎観光親善大使」に、本学の学生4人が選ばれました。今回委嘱を受けたのは、以下の4名です。池島英里さん(経済学部経済経営学科4年)、山後重理沙さん(経済学部文化経済学科4年)、トンラガさん(経済学部経済経営学科3年)、梁月蒙さん(経済学部経済経営学科3年)。彼女たちは柏崎観光親善大使として、本学が立地する柏崎市の観光を広くPRするため、年間様々な観光イベントに参加しました。また平成24年5月には、日中国交正常化40周年の記念事業として中国国内で開催されるイベントに渡航参加し、中国国内でも柏崎市の観光PRを行いました。その際、中国からの留学生であるトンラガさんと梁月蒙さんは、観光大使の任務の他に通訳もこなしました。2人は日頃の留学生活の成果を十分に発揮してもらいました。

この柏崎市の観光PRを通して得られた数々の貴重な経験が学生たちのキャリアアップにプラスとなったと思います。今後のさらなる活躍を期待しています。



左から 梁月蒙さん、トンラガさん、右から 山後さん、池島さん

大学は「美味しいフェア」に出店!

平成24年10月12日から14日の三日間、アオーレ長岡(長岡市)で、「大学は美味しい!!フェア『新潟』」(主催: NPO法人プロジェクト88)が開催され、本学も出店参加しました。



新潟産業大学のブース

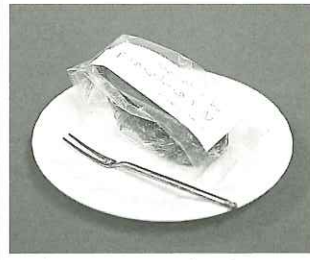
この企画は、「2012ガス展(主催: 北陸ガス)の「1コーナ1企画」として開催されたもので、3日間(約1万人近い方々が訪れるという大きなイベント)でした。『食』をテーマとした「大学は美味しい!!フェア『新潟』」とは、大学と地域(主に食品企業)とのコラボで生まれた商品を、各々の大学が持ち寄り、1大学1ブースで販売を行うという企画で、県内5大学、県外2大学が出店しました。本学からは、阿部ゼミ、梅澤ゼミ、卓球部顧問の小黒先生と卓球部員がコラボ商品を出品しました。また、コラボしていただいた新野屋(あらはや)さまからも販売指導で参加していただきました。おかげさまで用意した商品は、ほぼ完売いたしました。購入いただいた皆様、大変ありがとうございました。



〈風の味 たな米〉
(たなべい)
1袋120g 200円
阿部ゼミ・新野屋さま

本学は、以下の3つの商品を出品しました。

〈青濁〉1本720ml 1,400円▶
学友会・原酒造さま



▲〈くつらぐらっせ〉1個 300円
梅澤ゼミ・光月堂さま

十日町市ビジネスコンテスト本選会に出場!

平成24年12月15日十日町市クロスステンにおいて「トオコン(十日町市ビジネスコンテスト)@AGORA」の本選会が行われました。本学からは、10月に実施された新潟予選会を勝ち上がった「チーム渡邊ゼミ」が発表を行いました。本選会では、新潟予選会と東京予選会の各上位3チームの計6チームが参戦しました。「十日町を全国ブレイクさせるビジネス」と「過疎を逆手にとるビジネス」のいずれかのテーマを選択し、そのテーマに沿ったビジネスプランを考え、プレゼンを行いました。高い評価を受けたビジネス



西山さん=左▶
間さん=右

プランについては、地元企業とマッチングし商品化する可能性があります。本学のチーム渡邊ゼミ(3年西山聡美さん・3年間原奈さん)は、タイトル「クイズラリー」で商店街をにぎやかに」というテーマで地元商店街の活性化を提案。従来にはない工夫を凝らしたクイズラリーで親子連れや学生・若者を商店街に招きにぎやかにし、最終目標としてこのビジネスモデルを全国に普及させるというプランを力強く発表しました。「チーム渡邊ゼミ」は残念ながら本選会での入賞(上位3チーム)を逃す結果となりましたが、予選会から数段と洗練されたパフォーマンスを披露しました。この経験を活かして更なるステップへ繋げていくことを期待しています。

編集後記

今年度から、大学事務局における「父母の会」担当の学生課の課長に就任いたしました。春の就任から、夏、秋と過ぎ、早いもので雪の季節を迎えます。願わくばこの会報が発行される頃に、「今年は暖冬で雪が少ないうね。」という会話が交わされていることを祈る今日この頃です。父母の会におかれましては、本年度も様々な行事が開催されてきました。学園祭での講演会では本学青柳勸先生(全日本水球チーム主将、元海外プロ水球選手)から、「ここだけでしか聞けないプロスポーツ世界の裏話」を聞き、また、新潟・中部東海支部総会にける本学蓮池薫先生の講演では、初めて聞く内容に我を忘れてしまいました。

一方、在学生による就職体験発表、保護者面談など、大学からも多くの情報を父母の会の皆様に発信しております。保護者と共に学生を育て、元氣不足の世の中にパワーある若者を送り出すことが「大学」の使命であると考えます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新潟産業大学父母の会事務局
学生課長 小越誠一